

# 輝 SONODA SPORTS PRESS

**園田学園女子大学**  
園田学園女子大学短期大学部  
〒661-8520 兵庫県尼崎市南塚口町7-29-1

学部・学科  
人間健康学部 総合健康学科 人間教育学部 児童教育学科  
人間看護学科 経営学部 ビジネス学科  
食物栄養学科 短期大学部 生活文化学科  
幼児教育学科

お問い合わせ先 スポーツ振興センター  
TEL 06-7507-1813 FAX 06-7507-1814  
URL <http://www.sonoda-u.ac.jp/sports/>  
instagram sonodasp  
Twitter sonodasports



ソフトボール部 インカレ5年ぶり8回目

# 日本一

写真提供：ベースボール・マガジン社

## 関西リーグ1部春秋連続

ソフトボールの第56回全日本大学女子選手権(インカレ)決勝は2021年11月11日、愛知県安城市で行われ、園田学園女子大学が7-3でIPU環太平洋大学を破り、5年ぶり8回目の大学日本一に輝いた。園田学園女子大学は先制点を許したが、4回以降は4本塁打など打線が爆発した。投げては飯島綾香(総合健康学科1年)が10奪三振の完投。飯島は5試合すべてで勝利投手となり、大会MVPに輝いた。

関西学生リーグの女子1部に君臨し続ける園田学園女子大学は2021年度も春季・秋季ともに優勝を飾った。春季は1敗を喫したが、秋季は全勝だった。しかし、夏に試練が待ち受けていた。西日本大学女子選手権(西日本インカレ)で2回戦を勝ち抜けず、悔し涙。だが、ここで立ち止まるようなチームではない。「西日本インカレの敗戦から、自分たちはどうしないといけないのかと全員が考えて、日本一になるために誰一人妥協せずやってこられました」と主将の藤森捺未(総合健康学科4年)。苦杯をなめさせられた王者が目覚めていった。

準決勝は1回裏、保谷蓮(総合健康学科2年)の先頭打者本塁打で1点を先制。3回にも1点を追加し、投手戦を勝ち切った。そして、大学日本一を懸けた決勝。4年前の決勝で優勝を阻まれたIPU環太平洋大が対戦相手だ。3回に1点を先制されたが、4回に竹内みのり(同学科4年)と平岡花(同学科2年)の連続本塁打で逆転に成功。5回にも藤森と小西彩未(同学科4年)が連続本塁打を放って優位を固めた。

先発した飯島はチェンジアップが冴え、7回裏に2点を返されるも、5者連続を含む10奪三振で圧巻のピッチング。前日の準決勝

## 西日本敗戦からはい上がる

西日本インカレで2回戦敗退を喫した園田学園女子大学。悔しさを晴らすのは、3大会連続で準優勝しているインカレで「大学日本一」をつかむしかない。この目標はぶれなかった。

春季リーグで防御率0.00を記録した飯島を中心に投手力と守備力は秀でていることから、練習では、攻撃力強化として「振り抜く」という課題に徹底して向き合った。

そして迎えたインカレ。大事な初戦を6-2で快勝すると、2回戦は一転して

終盤まで1点を追いかける展開に。攻勢に転じたのは6回裏。3連打で同点とし、さらに舟橋京花(同学科3

## 4本塁打&エース完投で栄冠奪還

### 飯島がインカレMVP

も完投しており、また、同日開催の準決勝終了と決勝開始の間隔が38分しかなかったことを考えると、スタミナ・集中力・制球力には恐れ入る。飯島は園田学園女子大学がこの大会で戦った全5試合で勝ち投手となり(3完投)、大会最優秀選手に選ばれた。

夏に陥った逆境から立ち上がり、捲土重来して日本一の栄冠をつかんだ園田学園女子大学。強豪と称されることのプライドと伝統が、これからも新しい歴史をつくっていく。

【お知らせ】ソフトボール部のインカレ制覇を祝う「優勝報告会」が2月3日(木)17時〜講堂で行われます。

年)の右前適時打で試合を決めた。同日の準々決勝は西日本優勝の中京大と対戦。拮抗した試合となったが、ここで敗退するのは早すぎる。1-1の7回裏、園田学園女子大学は一死満塁と絶好機を築いた。打席には代打の中野花季(同学科2年)が立ち、期待に応えて一、二塁間に値千金の適時打。劇的なサヨナラ勝ちとなった。

## Vコメント

**木田京子監督**「感激していません。とにかく選手のみんなに感謝の気持ちと、褒めてあげたい気持ちしかないですね。園田のプレーをいかに発揮するかということだけに集中して戦えたんじゃないかなと思います。これまでの3ヶ月、振り抜くという課題をやってきました。それを最後に発揮してくれました。デイフェンスも投手中心によく守ってくれました」

**主将・藤森捺未**「ここまでたくさん苦しい試合が続きましたが、日本一に向けて練習してきました。最高の形で終われたし、45人全員で勝ち取れてよかったです。西日本インカレの負けから学んで、さらに強くなれたと思います」

**竹内みのり**(大会2本塁打。決勝の1発は)「迷いなくスイングができて、ポイントで飛んで行ったので、あー入ったなという感じであーうれしかったです。(園田)打線の特徴は初球からフルスイングです」

**飯島綾香**(捕手の元川環(総合健康学科4年)さんがしっかりリードしてくださる、また、打たれた打球も野手の皆さんがしっかり守ってアウトにしてください、私は思い切ってプレーすることができました」

## 大会成績

◆春季関西学生リーグ(女子1部)	07-4 大阪国際大
09-0 大阪大谷大	05-0 大阪大谷大
02-1 太成学院大	02-0 神戸親和女大
06-1 武庫川女大	02-0 太成学院大
00-1 関西大	◆全日本大学女子選手権
01-0 神戸親和女大	▽1回戦
09-1 大阪国際大	園田学園 20120001-6
11-0 龍谷大	東京国際 20000000-2
◆西日本大学選手権・女子	(園) 飯島(捕) 元川
1回戦	(本) 竹内(二) 田村 保谷 藤森
2回戦	▽2回戦
07-1 中国学園大	早稲田大 00001000-1
06-1 同志社大	園田学園 00000303-3
04-0 龍谷大	(園) 飯島(捕) 元川
06-0 関西大	(本) 竹内 平岡 藤森 小西
	▽準々決勝
	中京大 00010000-1
	園田学園 0010001x-2
	(園) 飯島(捕) 元川
	(本) 保谷 藤森
	▽準決勝
	東京女体 00001000-1
	園田学園 1010000x-2
	(園) 飯島(捕) 元川
	(本) 保谷(二) 保谷
	▽決勝
	園田学園 00003310-7
	環太平洋 00100002-3
	(園) 飯島(捕) 元川
	(本) 竹内 平岡 藤森 小西

テニス部

# 東谷・宮崎組

## インカレ女子ダブルス

# 4強



インカレ女子ダブルスで健闘し、ベスト4の成績を収めた東谷(右)・宮崎ペア

2021年度関西学生春季トーナメントは新型コロナウイルス感染症により予選が延期・再延期となり、2021年7月ようやく本戦が開催となった。テニス部はシングルスに6人、ダブルスに3組が出場。変化的な日程が影響したのか、シングルスで東谷和(児童教育学科4年)が3回戦に進んだのが最高で、個々の実力を発

## 接戦を勝ち上がり 堂々上位

揮できなかった。立て直して迎えた同年8月の全日本学生選手権(インカレ)。シングルスで2回戦敗退を喫した東谷だったが、宮崎明莉(総合健康学科3年)と組むダブルスで快進撃を見せた。予選からしぶとく勝ち上がって本戦に

## 日本学生テニス選手権大会



進出。その1回戦は快勝した。2回戦は第1セットを取った後、第2セットを0-6で落とした。流れが相手ペアに傾きかけたが、第3セットを見事に踏ん張った。



東谷(右)と宮崎は接戦を勝ち進むことで、お互いの信頼を強めていった

3、4回戦の厳しいゲームも乗り越えて、準決勝へと進んだ東谷・宮崎組は20年度からペアを組むが、関西学生で初戦敗退するなど、「自分たちのいい部分をなかなか出せずに悔しい思いをしてきた」(東谷)という。

インカレでも接戦続きで気持ちが張り詰めた。東谷は「(後輩の)宮崎にプレッシャーをかけてしまっていました」と振り返る。それを解かなければと、お互いにやるべきプレーを明確にし、「ミスをして焦らず、楽しんで戦おう」と気持ちのスイッチを切り替えた。

勝ち上がるたびにペアの信頼が強まり、「全国ベスト4」という胸を張って言える成績を残した。宮崎は「初めてのインカレで緊張や不安もたくさんありましたが、予選から7試合を経験できたことは、自分自身が成長する大きなきっかけになった」と思いま

す。と、さらに上への思いを強くした様子。



櫻井ゆき(総合健康学科3年) 島田莉央(児童教育学科1年)



岩岡希香(総合健康学科2年)

最後のインカレとなった東谷は「達成感は大きいですが、敗戦から学んだことを先輩たちに伝えて、もっと上の舞台で活躍できるように頑張っていきたい」と、来季に備えるチームにエールを送った。

### 大会成績

- ◆関西学生春季トーナメント(7月)
  - ▽女子シングルス
    - 1回戦 櫻井 東谷 島田 岩岡
    - 2回戦 東谷
    - ▽女子ダブルス
      - 1回戦
      - 2回戦
  - ◆全日本学生選手権(8月)
    - ▽女子シングルス
      - 1回戦 東谷 0-1 浅野(立大)
      - 2回戦 東谷 0-1 2 浅野(立大)
      - ▽女子ダブルス
        - 1回戦
        - 2回戦
        - 3回戦
        - 4回戦
        - 準決勝
        - 決勝

## 秋季リーグ1部8位 昨季11位から上昇



### インカレ初戦突破はならず

バレーボールの関西大学春季リーグ女子1部は新型コロナウイルス感染症の影響で中止に。代替として夏季リーグ戦が開催された。Aブロック初戦で関西大をフルセットで破り、2戦目も勝利。3勝2敗と勝ち越したが、1-8位決定戦には進めなかった。

全日本大学女子選手権(インカレ)出場が懸かった秋季リーグ戦。Bブロックの初戦、セットカウント1-2の劣勢から逆転勝利した。勢いに乗りたいところだったが、2戦目から3連敗を喫した。それでも、フルセットにもつれこませたり、一矢報いたりと好ゲームを演じた。

6戦目は第1セットを落としたが、第2セットから3セット連取して逆転勝ちするなど、粘り強いバレーを展開。3勝4敗で、インカレ出場推薦を得られる上位リーグに進んだ。

その3戦目の京産大戦は



コロナ禍で大会は無観客で開催された

シーズンゲームに。第5セットを15-10で奪い、貴重な1勝を挙げた。最終順位は女子1部8位。2020年秋季リーグ戦時の11位から一歩も二歩も浮上してみせた。主将を務めた加藤萌(総合健康学科4年)は「自分たちの強みは何なのか、課題は何なのかを理解して練習に取り組むことで、確実にチームが成長していき、今回のリーグ戦の結果につながったのだと思います」と胸を張った。



インカレ出場。来季こそ初戦突破を!

### 大会成績

- ◆関西大学夏季リーグ(8月)
  - ▽女子1部Aブロック
    - 0-3-0 大阪学院大
    - 0-3-0 龍谷大
    - 0-3-0 神戸学院大
    - 1-1-3 天理大
  - ▽女子1部Bブロック
    - 0-3-2 大阪国際大
    - 0-0-3 京都橋大
    - 0-2-3 龍谷大
    - 1-1-3 神戸親和女大
    - 0-3-1 大塚大
    - 0-1-3 芦屋大
    - 0-0-3 京産大
    - 0-0-3 千里金蘭大
    - 0-0-3 武庫川女大
- ◆全日本大学女子選手権(12月)
  - ▽1回戦 0-2-0 関西福祉大
  - ▽2回戦 0-2-2 帝塚山大
  - ▽3回戦 0-0-3 日本女子体大

# バドミントン関西学生秋季リーグ

## 全勝優勝



**4部から3部へ昇格**

バスケットボールの第42回全関西女子学生選手権は2021年4月に開幕したが、園田学園女子大学が初戦を迎える大会5日目から新型コロナウイルス感染症拡大のため6月に延期された。水入り後の初戦（トーナメント2回戦）、大教大を相手に前半は4点リードだったが、後半は攻勢を強

# バスケットボール部

## 全関西女子8位

### リーグ戦1部6位



初白星は天理大と対戦した第5戦。第2クォーターで稲井朋香（総合健康学科4年）や井上ひかる（同学科1年）の3ポイントが決まり、チームに流れを引き寄せた。このクォーターを24-14で終えると、第3クォーターは22-9。ポイントゲッターの西山美優（食物栄養学科4年）の活躍もあり、快勝を収めた。

2021年、バドミントンの関西と兵庫の両学生春季リーグ戦は新型コロナウイルス感染症の影響で中止を余儀なくされ、9月の関西学生秋季リーグ戦が、公式のシーズン初戦となった。実戦から離れていた選手たちだが、目標を見失わずに継続した練習の成果を発揮。女子4部を全勝するとともに（不戦勝含む）、単複1試合も落とさず完全制覇を成し遂げた。

2021年10月開催の関西女子学生リーグ戦は、「関西ベスト4」と「インカレ出場」を目標に掲げ、仕切り直して迎えた。各試合で優勢なクォーターもつくったが、リーグ戦に牙城を築く上位4校の壁は高く、力及ばず黒星が続き続いた。

初白星は天理大と対戦した第5戦。第2クォーターで稲井朋香（総合健康学科4年）や井上ひかる（同学科1年）の3ポイントが決まり、チームに流れを引き寄せた。このクォーターを24-14で終えると、第3クォーターは22-9。ポイントゲッターの西山美優（食物栄養学科4年）の活躍もあり、快勝を収めた。続く第6戦は稲井のシュートで先制。前半は37-36と均衡して折り返した。後半に入ると地力の差が出始め、園田学園女子大学は着実にポイント。安田茉耶（同学科1年）が20得点、西山が19得点するなど、ボールを集めた選手が期待にこたえた。それだけに最終戦を2点差で敗れたことが悔やまれる。

### 大会成績

◆関西学生秋季リーグ戦（9月）

女子4部	5-0	四天王寺大
女子3部	5-0	松本大
女子2部	5-0	松本大
女子1部	5-0	松本大
男子4部	5-0	松本大
男子3部	5-0	松本大
男子2部	5-0	松本大
男子1部	5-0	松本大

### 大会成績

◆全関西女子学生選手権

2回戦	2	大教大
準々決勝	5	大教大
5位決定戦	7	大教大
7位決定戦	7	大教大

リーグ戦は1部6位の最終成績。新チームも始動し、「福島梓（同学科3年）は「昨年開催されなかったリーグ戦が開催され、試合ができる環境や練習ができることは、多くの方々の支えがあってこそとあらためて感じることができました。この気持ちを忘れずに、今年果たせなかった目標の達成に向かって、日々練習に取り組みます」と気持ちを新たにします。努力を継続し、関西強豪に立ち向かう。

## 目指せ！全国4強

大学女子軟式野球の主要大会は2021年度も新型コロナウイルス感染症の影響で中止に追い込まれた。軟式野球部が日々「全国ベスト4」を掲げて練習してきた全日本大学女子野球選手権は2年連続の中止。主将の吉川桃奈（総合健康学科3年）は「先輩たちの引退試合がなくなったことは悔しい」としながらも、ともに練習した日々に対しては「自分たち後輩にとって

## 大会成績

◆関西学生リーグ 女子2部

△Aブロック	11-10	武庫川女大
△Bブロック	9-8	近畿大
△2部上位決定戦	11-5	立命館大
△2部上位決定戦	12-7	大阪市大
△1部2部入替戦	6-4	立命館大

# ラクロス関西学生リーグ

## 念願の1部昇格

### 女子2部総合2位・入替戦勝利



ラクロス部は2021年度の第31回関西学生リーグの女子2部に参加し、Aブロックで全勝1位に。順位決定戦で1敗を喫したが、2部2位として1部2部入替戦に進んだ。大体大を相手に6-4で競り勝ち、1部昇格を決めた。

### 園田学園の思い出

山田 悠帆里さん  
剣道部  
人間健康学部  
総合健康学科  
滋賀県立草津東高校出身

グループワークを行う授業でコミュニケーションを取ることができました。剣道部では礼儀を学び、社会性を身につけることができました。剣道部で仲間と日々高め合ったことはもちろん、本学の強化部は優秀な成績を残しており、他の部

### 園田学園の思い出

中西 杏実さん  
バレーボール部  
人間健康学部  
総合健康学科  
兵庫県立泉上高校出身

部活動では協調性、考える力、コミュニケーション力が身につくことができ、とても充実した4年間を送ることができました。体育館は設備が整っていて、守衛の方がいらつしやる点でも、私たちが思いっきりプレーに集中できる環境でした。学生に寄り添った教育と最新のバレーボール技術

### 園田から羽ばたく！

Special Message

稲井 朋香さん  
バスケットボール部  
人間健康学部  
総合健康学科  
大阪府・明浄学院高校出身

1年間、主将を務めさせていただき、言葉で伝えたり、相手の話を聞き入れたりするコミュニケーション力が養われました。周りの方、チームメイトがいるから身についた力だと思っています。バスケットボール部は大人数ですが、部員全員が一

# 初優勝

## 陸上競技部

# 総力戦で



### 関西学生対校女子総合

創部時3人だった陸上競技部。現在は100人を超える「全員自己ベスト」が部のモットーだ

陸上競技部が関西学生対校選手権(関西インカレ)で女子総合初優勝に輝いた。10月/ヤンマーフィールド長居)で女子総合初優勝に輝いた。400m、1600mリレー、棒高跳で優勝するなど選手が出場した17種目すべてで1人以上が入賞。さらに入賞した選手は全学年に及び、まさに「総力戦」と呼ぶにふさわしい奮闘ぶり、2009年創部以来の悲願である栄光をつかみ取った。

チームの高揚を象徴したのは最終種目の1600mリレー。チーム史上初めて3分40秒を切る3分39秒38で2位に入った。部を率いる藤川浩喜監督は「みんなに勇気を与えた」と大健闘を称賛した。

コロナ禍により2021年5月から延期された関西インカレを10月に控え、陸上競技部は9月の日本学生対校(インカレ/熊谷)に臨んだ。学生最高峰の大会でも主力が躍動。大会初日の棒高跳で大坂谷明里(総

合健康学科)と古林愛理(同学科)の1年生コンビがともに4m00をクリアして1・2位。やり投の栗原千賀子(同学科4年)も7位入賞し、フィールド陣の活躍からチームに勢いが生まれた。



関西インカレ(左から)3位黒田、優勝古林、2位大坂谷の棒高跳トリオ

## 出場全種目入賞で悲願達成

### 関西インカレV

シーズン集大成となる関西インカレも初日の棒高跳から勢いづいた。インカレとは順位が入れ替わり、今度古林が4m00で制し、大坂谷が2位。黒田愛香(総合健康学科4年)が続いて、1・3位を園田学園女子大学勢が占めた。「同学年の(大坂谷と)2人で一緒に記録を上げていけたらと思っています」と古林。来季も園田コンビが学生女子棒高跳を盛り上げてくれる。

もう一人、個人優勝に輝いたのは400mの安田明日翔(同学科4年)。前半が強い向かい風になった難しいレースを攻略し、大会4連覇を狙った川田朱夏(東大阪大4年)を抑えた。安田は「自分の力を決勝でちゃんと出せました。勝ってちゃんと出せました。高校時代から友だちの川田の4連覇を止めるなら自分かと思っていたのでうれし」と喜んだ。

安田が2走を務めた1600mリレーはアンカーの安達茉鈴(同学科1年)が立命館大に競り勝って優勝。安達は100m、200m、400mリレーをあわせて4種目で入賞する大活躍だった。

短距離エースの三浦愛華(同学科2年)は100mで東京五輪に出場した他校2選手に次いで3位。来季奮起の原動力にしたい。走幅跳と三段跳では廣瀬桃奈(食物栄養学科3年)が2種目入賞を果たし、砲丸投とやり投もそれぞれ出場3人全員が入賞するなど、関西インカレでの入賞は全30個を数えた。

昨季の主将を務めた山本紗也夏(総合健康学科4年)は「関西インカレではトラック優勝、フィールド準優勝、混成4位と偏ることなく出場全選手が力を出しました。私たちの強みである『総合力』を十二分に発揮することができました。夏に競技を引退した4年生も大会運営に協力してくれました。全員で勝ち取った総合優勝だと思います」と総括した。



100m3位の三浦。インカレも6位入賞した。



走幅跳と三段跳で入賞した廣瀬

## 駅伝部 関西インカレ 3人入賞

駅伝部はインカレ1万m競歩で藤野楓(児童教育学科1年)が9位に。関西インカレでは800mで渡辺愛(食物栄養学科1年)が6位、1万m競歩で藤野が6位、東楓(同学科1年)が8位に入賞した。主将の藤野葵(児童教育学科3年)は「今年も関西学生女子駅伝に出場できず、選手一人ひとりが課題や悩みを見つけた一年でした」と総括。

「来年は駅伝にチームとして最高の状態で出場したい」と誓いを立てている。

## 剣道部 関西女子学生優勝大会 準優勝



関西女子学生優勝大会で準優勝した剣道部メンバー

## 1年生・清家が8強

新型コロナウイルス感染症の影響で2020年は公式戦がすべて中止になった剣道部。日頃の稽古の成果を発揮する舞台がないまま卒業した先輩たちの胸中を思いながら、2021年の試合に臨んだ。

6月の関西女子学生選手権では3選手が3回戦に進出した。そのうち清家野々花(総合健康学科1年)が4回戦、5回戦と勝ち上がり、準々決勝まで進んだ。

健闘が評価されて優秀選手賞に選出。1年生の活躍はチームへの刺激となった。団体戦の関西女子学生優勝大会は順調に8強へ。上位戦は厳しい接戦となり、準決勝は代表戦に突入。大将の池田仁美(総合健康学科3年)がメンを決めて勝利した。決勝も集中力を高め、しぶとく攻めた。

新主将の池田は「接戦ばかりでしたが、一戦一勝で勝ち上がることができ、稽古に励んだ成果がチーム力として発揮できました」と振り返った。

全日本女子学生優勝大会は初戦敗退を喫したが、全日本女子学生選手権では清家がベスト16まで勝ち上がった。1年間無試合の我慢を経て競技した2021年。剣道に励むことができ、感謝と、自信と悔しさが収穫だった。



準優勝の表彰を受ける選手たち

### 大会成績

◆関西学生選手権(5月)

100m ②三浦11秒49 ③三浦11秒56 ④安達11秒60 ⑤黒田11秒65 ⑥黒田11秒70 ⑦黒田11秒75 ⑧黒田11秒80 ⑨黒田11秒85 ⑩黒田11秒90

200m ③安達2分11秒60 ④黒田2分12秒00 ⑤黒田2分12秒40 ⑥黒田2分12秒80 ⑦黒田2分13秒20 ⑧黒田2分13秒60 ⑨黒田2分14秒00 ⑩黒田2分14秒40

400m ①安田4分08秒80 ②安田4分09秒20 ③安田4分09秒60 ④安田4分10秒00 ⑤安田4分10秒40 ⑥安田4分10秒80 ⑦安田4分11秒20 ⑧安田4分11秒60 ⑨安田4分12秒00 ⑩安田4分12秒40

800m ①安田8分17秒60 ②安田8分18秒00 ③安田8分18秒40 ④安田8分18秒80 ⑤安田8分19秒20 ⑥安田8分19秒60 ⑦安田8分20秒00 ⑧安田8分20秒40 ⑨安田8分20秒80 ⑩安田8分21秒20

1600m ①安達3分39秒38 ②安達3分40秒00 ③安達3分40秒30 ④安達3分40秒60 ⑤安達3分41秒00 ⑥安達3分41秒30 ⑦安達3分41秒60 ⑧安達3分42秒00 ⑨安達3分42秒30 ⑩安達3分42秒60

◆関西学生対校選手権(10月)

100m ①三浦11秒49 ②三浦11秒56 ③三浦11秒60 ④三浦11秒65 ⑤三浦11秒70 ⑥三浦11秒75 ⑦三浦11秒80 ⑧三浦11秒85 ⑨三浦11秒90 ⑩三浦11秒95

200m ①三浦2分11秒60 ②三浦2分12秒00 ③三浦2分12秒40 ④三浦2分12秒80 ⑤三浦2分13秒20 ⑥三浦2分13秒60 ⑦三浦2分14秒00 ⑧三浦2分14秒40 ⑨三浦2分14秒80 ⑩三浦2分15秒20

400m ①安田4分08秒80 ②安田4分09秒20 ③安田4分09秒60 ④安田4分10秒00 ⑤安田4分10秒40 ⑥安田4分10秒80 ⑦安田4分11秒20 ⑧安田4分11秒60 ⑨安田4分12秒00 ⑩安田4分12秒40

800m ①安田8分17秒60 ②安田8分18秒00 ③安田8分18秒40 ④安田8分18秒80 ⑤安田8分19秒20 ⑥安田8分19秒60 ⑦安田8分20秒00 ⑧安田8分20秒40 ⑨安田8分20秒80 ⑩安田8分21秒20

◆関西学生対校選手権(9月)

100m ①三浦11秒49 ②三浦11秒56 ③三浦11秒60 ④三浦11秒65 ⑤三浦11秒70 ⑥三浦11秒75 ⑦三浦11秒80 ⑧三浦11秒85 ⑨三浦11秒90 ⑩三浦11秒95

200m ①三浦2分11秒60 ②三浦2分12秒00 ③三浦2分12秒40 ④三浦2分12秒80 ⑤三浦2分13秒20 ⑥三浦2分13秒60 ⑦三浦2分14秒00 ⑧三浦2分14秒40 ⑨三浦2分14秒80 ⑩三浦2分15秒20

400m ①安田4分08秒80 ②安田4分09秒20 ③安田4分09秒60 ④安田4分10秒00 ⑤安田4分10秒40 ⑥安田4分10秒80 ⑦安田4分11秒20 ⑧安田4分11秒60 ⑨安田4分12秒00 ⑩安田4分12秒40

800m ①安田8分17秒60 ②安田8分18秒00 ③安田8分18秒40 ④安田8分18秒80 ⑤安田8分19秒20 ⑥安田8分19秒60 ⑦安田8分20秒00 ⑧安田8分20秒40 ⑨安田8分20秒80 ⑩安田8分21秒20

◆全日本女子学生優勝大会(11月)

1回戦 清家 〇 相場(日体大)

2回戦 清家 〇 石崎(東女体大)

3回戦 清家 〇 水川(法政大)

4回戦 清家 〇 水川(法政大)

### 大会成績

◆関西女子学生選手権(6月)

1回戦勝者 山田 比良元 清家

2回戦勝者 清家

3回戦勝者 清家

4回戦勝者 清家

5回戦勝者 清家

◆関西女子学生優勝大会(9月)

1回戦 清家 〇 北野(天教大)

2回戦 清家 〇 大西(関学大)

3回戦 清家 〇 明徳学院大

4回戦 清家 〇 明治国医大

◆全日本女子学生優勝大会(11月)

1回戦 清家 〇 愛知学院大

2回戦 清家 〇 相場(日体大)

3回戦 清家 〇 石崎(東女体大)

4回戦 清家 〇 水川(法政大)